

- ・学校評価項目、実施方法について
- ・学校 HP について(QR コードを付けてみては)

【熟議】「笑顔で 強く たくましい子」のために

- ・「レッツジョイン・グリーン活動」を行ったが、子どもの参加率が低かった。学校も一緒に取り組んでほしい。
- ・子どもの毎朝の検温表に、「今朝、家庭であいさつができましたか？」項目を入れてみてはどうか。
 - 「あいさつができたか」の見える化→グラフ等
- ・親も家庭であいさつの重要性を認識して欲しい。あいさつは、家庭からしなければならない。
- ・最近まで、登校するとき挨拶をしていた子が、急にしなくなる場合などがある。その様子から何かを感じ取っていかなければならない。
- ・各学級で、朝の会の時に「心を潤す4つの言葉」を読み上げるとよいのではないか。
- ・子どもにあいさつを「しなさい」と言うばかりではなく、大人がただあいさつをし続ける。そうすれば、何かしらの反応(笑顔、会釈、発声)が子どもに見えてくるはずである。
- ・あいさつは、知っている人だけではなく、知らない人や初めて会う人にも成長するにつれてしていかなければならないものである。知らない人にあいさつをするのは、小学生には難しい。
- ・小学生の公民館見学時に、子どもたちは各部屋で活動しているサークルの方々にあいさつをする。知らない人にあいさつをするよい機会ではないか。
- ・「あいさつの必要性・意味」について、教えていかなければならない。
- ・あいさつができるようになれば、子どもはよく変わっていく。
- ・運営協議会メンバーであいさつ運動を行ってもよいのではないか。(その他、近隣の
大宮東高校、七里中学校とも一緒に)
- ・スポーツを通して、グラウンドに、体育館に、道場にあいさつをする。
- ・あいさつができる子どものために、何か取組をしていきましょう。